

新国立競技場の計画の経緯

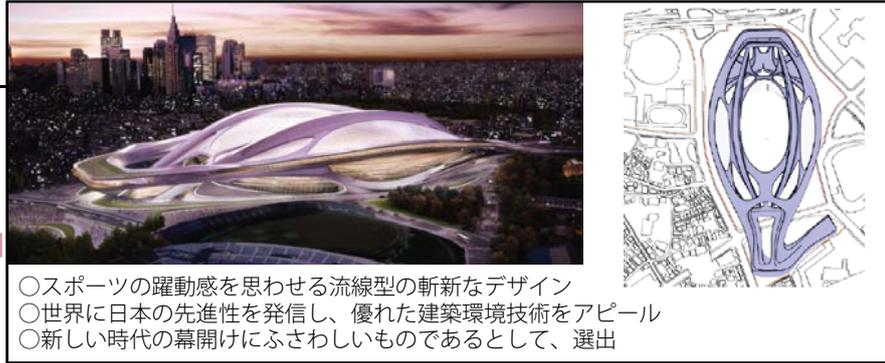
2011.2

ラグビーワールド
カップ2019日本大会
成功議員連盟 決議

2012.11

新国立競技場
基本構想
国際デザイン競技

約1,300億円程度
※デザイン提案の目安として提示



2013.1

立候補ファイルを
IOCへ提出

2013.9

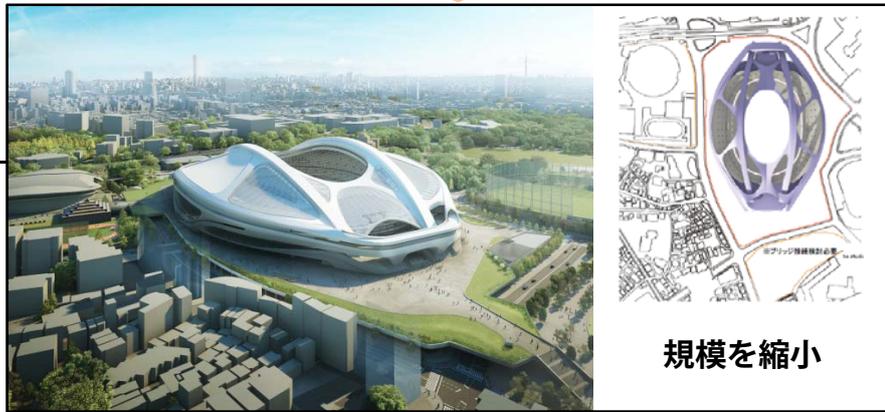
2020オリンピック・
パラリンピック開催
都市が東京に決定

デザインのコンパクト化 (約29万㎡ → 約22万㎡)

2014.5

基本設計

約1,625億円
※2013.7月時点の単価、消費税
5%で試算



2015.7

設計概要 (案)

目標工事費 2,520億円

①ラグビーワールドカップ、
オリンピック・パラリンピック
大会に向けた整備

- 可動席の簡素化
- 空調設備の一部見直し
- ペDESTリアンデッキの縮小 (今後検討)

主な増額要因

- 消費税引き上げ
- 建設資材や労務費の高騰
- 新国立競技場の特殊性
 - ・大規模で難易度が高い
 - ・工期を諸大会に間に合わせる事が必須

2015.10

工事着工

44ヶ月

2019.5

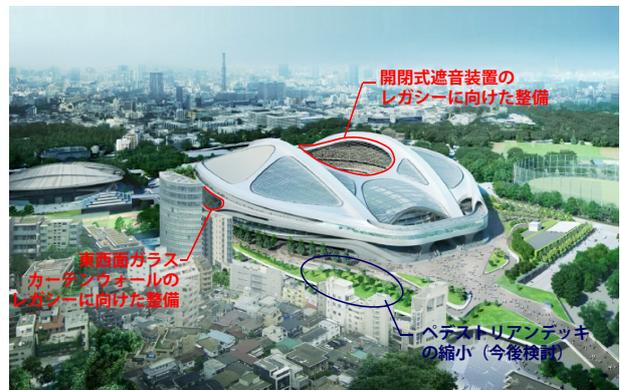
完成

2019.9

ラグビーワールド
カップ開催

2020.8

オリンピック・
パラリンピック大会
開催



オリンピック・
パラリンピック大会後

②レガシー時の活用に向けた整備

- 開閉式遮音装置の設置 (文化イベントを含めた幅広い利活用)
- 芝育成補助システムの設置 (天然芝の育成)
- 東西面ガラスカーテンウォールの設置